

— 総括表 —

◆ 事業計画

<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性	
<p>【地域の現状】</p> <p>・いずみ野地域ケアプラザは、いずみ野駅に隣接しています。駅前には商業施設や飲食店があり大変活気がある街となっています。クリニックも駅周辺には多くあり医療面でも恵まれた地域です。一方駅から離れると、買い物をするお店や病院が少なく、住宅街や農耕地が広がっています。弥生台地区は、戸建てが多く、多世代で居住している方も多い地域です。いずみ野・弥生台共にエレベーターのない集合住宅があることから、今後は高齢者の方々の、外出・通院・買い物といった移動に対する支援のニーズが多くなると考えられる地域です。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>・地域住民の方とともに、地域に必要な移動や外出支援に関する仕組みづくりをさらに進めます。</p> <p>・地域住民の方とともに、住みやすい街づくりを考え、生きがいにつながるような活動を創生出来るよう職員全員で取組みます。</p>	
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組	
新規	継続
— 具体的な取組内容 —	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<p>・令和2年度に立ち上がったサポーター「旧お出かけ手伝い隊」プロジェクトの活動の活性化と、活動の担い手となる方が増えていき、生きがいへと繋がるような活動となるよう支援します。</p>	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<p>・近隣の福祉施設や公的機関と協力して、新たなイベント(スタンプラリー)を秋に開催します。また、ケアプラザまつりの開催等イベントを通じて、地域住民の誰もが、気軽に利用できる開かれた施設となるよう働きかけます。</p>	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<p>・小学生を対象に認知症サポーター養成講座開催や、高齢者の体験等を実施して、若い世代に認知症への対応と理解が進むよう取組みます。</p>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

◆ 事業報告・事業実績評価

<input type="checkbox"/> 振り返り
<p>①「お出かけ手伝い隊」を「お出かけサポーター」に名称変更し、いずみ野地域ケアプラザで開催されている居場所「お出かけカフェ」への送迎や通院介助等実施し、順調に活動の輪を拡げています。「お出かけカフェ」の日は必ず定例会を開催し、情報交換等行っていますが最近では送迎だけでなく掃除等の依頼もあり、自治会単位の「支え合いの仕組みづくり」に発展することを検討するまでになりました。この取組みは県社会福祉協議会の研修事例(県で2事例)に選ばれるなど多方面で良い評価をいただきました。</p> <p>②ケアプラザ祭りはコロナ禍で中止としましたが、11月に、万全な感染対策の上「健康フェスティバル」を開催しました。近隣の白寿荘や泉消防署、和泉台病院、なの花薬局、クリエイト、ヤクルトさんの協力を得て、地域の方が健康に関する啓発とケアプラザの周知を行うことができました。</p> <p>③コロナ禍の中、小学生向けの認知症サポーター養成講座は開催できませんでしたが、地域イベントを通していずみ野小学校との連携が深まったことから次年度に開催できることになりました。「健康フェスティバル」でボランティアをしてくれた秀英高校にも声をかけていきます。</p>
<input type="checkbox"/> 区からのコメント
<p>・広報誌やホームページを充実させるとともに、シニアクラブをはじめ多くの関係機関との連携を密にし、身近な相談機関としてのケアプラザの周知を積極的に行っています。また、近隣の学校との連携を積極的に図りながら地域での見守りにつながる活動が進められており、今後の事業展開に期待します。</p> <p>・「お出かけサポーター」の取組は、コロナ禍でも途切れることなく利用者のニーズに沿ったサービス提供を行うなどインフォーマルサービスとして非常に素晴らしい活動となりました。丁寧な調整等を行い「おたがいさま」の輪を広げる事業展開も目を見張るものがあります。泉区アクションプランにも掲載させて頂き、次年度のさらなる発展を期待しています。</p> <p>・認知症支援においては、他エリア認知症カフェへの参加、認知症サポーター養成講座の取組拡大など幅広く活動できていました。来年度のチームオレンジの展開を期待しています。また、広報誌などを活用し、包括の取組については幅広く周知できていました。エリアに多く点在する医療機関・薬局に対しては、ケアプラザの役割周知や顔の見える関係づくりを、さらに推進いただければと思います。引き続き、他エリア包括への橋渡しなど、ご協力をお願いします。</p>